

宣誓

本日は大変お忙しい中、新入職員歓迎式を開催いただきまして、誠にありがとうございます。児玉理事長を始め、多くの方々のご臨席を賜りましたことを心より御礼申し上げます。只今の理事長からのお言葉を受け、身に沁みて感激しているところであります。

東日本大震災による福島第一原子力発電所における未曾有の事故が発生して6年が経過しましたが、廃炉へはまだまだ長い道のりの途中で、さらには原子力分野における人材が不足しているといった報道がなされております。そのような原子力に係る厳しい逆風の中で、原子力機構は廃止措置に係る数々の研究開発成果をあげ、日本が今まさに抱える問題に対して率先した姿勢を示しております。そして本日から、そのような組織の一員となれることを、心から光栄に存じております。これからの日々を、大きな誇りをもって業務に着手して参りたい所存であります。

一方で、まだまだ社会人としての1歩を踏み出したばかりのわたくしどもでございます。これから社会を動かし、貢献するための人間となります。少しずつ立派な社会人になればよいだろうと悠長に構えず、今この瞬間から社会人となったのだという自覚を持ち、社会人として、機構職員として一刻も早く成長を遂げたい所存であります。そして将来振り返った時、原子力を通して社会に貢献できたと胸を張れるような人生にしたいと思っております。そのためにも、どうか皆様方のご指導とご鞭撻をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、原子力機構が掲げるミッションである、「原子力の未来を切り拓き、人類社会の福祉に貢献する」という使命を胸に、幾歳が経っても、この日の感激を風化させることなく、常に英姿颯爽とした機構職員として、原子力に係る知見を貪欲に吸収しつつ、研究開発の推進や地域への貢献を果たすために日々精進していく事をここに誓います。

平成29年4月3日
新入職員代表 市井紗也加